

宿泊税と地方財政

名古屋市立大学 経済学部 湯之上ゼミ

川合真央 杉江慶信 鈴木凰利鷹 戸田幹登 矢野里奈

発表の流れ

- ① 動機・分析の目的
- ② 宿泊税とは
東京都・大阪府・福岡県・京都市・金沢市
- ③ 先行研究
- ④ 分析：大阪府と福岡県
- ⑤ 分析結果
- ⑥ 考察・まとめ
- ⑦ 参考文献

動機・分析の目的

- **動機**: コロナ終息後,旅行需要が回復する中で,宿泊税が観光回復の妨げとなる可能性が指摘されている。京都市では増税,常滑市では新規導入されるなど,各地で宿泊税の在り方が問われている。観光振興と財源確保のバランスを再考する必要があるのではないか
- **目的**: 宿泊税の導入が観光振興の妨げとなっているのか,推進力となっているのかを調べる



宿泊税とは

- ホテルまたは旅館に宿泊する方に課税される法定外税
- 納税義務者：ホテルまたは旅館に宿泊する方
- 納税額：宿泊数 × 税率



東京都

- ◆ 施行期日：平成14(2002)年
- ◆ 目的：国際都市東京の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
- ◆ 納める額：宿泊数 × 税率

宿泊料金(1人1泊)	税率
10,000円以上、15,000円未満	100円
15,000円以上	200円

- ・1人1泊10,000円未満の場合は宿泊税なし
- ・宿泊料金は素泊まりの料金と素泊まりの料金にかかるサービス料を指す

東京都

◆宿泊税の活用事例

① 観光関連事業者の経営力向上への支援

(例) 事業者向けワンストップ支援センターの設置や人勢育成など

② デジタル技術を活用した観光の推進

(例) 観光事業者のDX導入の促進やデジタルマーケティングの推進など

③ 東京ならではの観光資源の磨き上げと新たな観光スタイルの浸透

(例) 地域の観光事業者の連携促進、多摩・島諸地域における観光資源の開発,発信など

東京都

◆ 宿泊税の活用事例

④ 地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進

(例) シビックプライドの醸成やサステナブル・ツーリズムの推進など

⑤ MICE誘致の推進

(例) 国際競争力の強化に向けた誘致・開催経費への重点的な支援、DX導入に向けたハイブリッド開催への支援や人材育成、SDGs達成に貢献する取り組みへの支援など

大阪府

- ◆ 施行期日：平成29(2017)年1月1日
- ◆ 目的：大阪が世界有数の国際都市として発展していくことを目指し、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に充当している
- ◆ 税率

宿泊料金(1人1泊)	税率
5,000円以上15,000円未満	200円
15,000円以上20,000円未満	400円
20,000円以上	500円

令和5年度の宿泊税収入
2,510,000千円

※2025年9月1日から、宿泊税の税率を引き上げ、免税点を引き下げ

大阪府

◆宿泊税の活用事例

- ① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進
(例) Osaka Free Wi-Fi設置促進事業費
- ② 魅力づくり及び戦略的なマーケティングプロモーションの推進
(例) 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業費

福岡県

- ◆ 施行期日：令和2(2020)年4月1日
- ◆ 目的：観光資源の魅力向上,旅行者の受入環境の充実その他の観光の振興を図る施策に要する費用に充てる



令和5年度の宿泊税収
1,733,054 千円

福岡県

◆納める額(税率) 宿泊者1人1泊につき以下のとおりとなる

宿泊施設の所在地			税率		
			県税率	市税率	合計(納める額)
福岡県(北九州市・福岡市以外)			200円	—	200円
北九州市			50円	150円	200円
福岡市	宿泊料金	2万円以上	50円	450円	500円
		2万円未満	50円	150円	200円

福岡県

◆宿泊税の活用事例

- ① 受入環境の充実 （例）MaaSを活用した県内周遊促進
- ② 観光資源の魅力向上 （例）新たな観光地域づくりの推進
- ③ 効果的な情報発信 （例）「ふくおか平日おトク旅」
観光キャンペーンの実施
- ④ 観光振興の体制強化 （例）観光団体のDMO化の推進

京都市

- ◆ 施行日：平成30(2018)年10月1日
- ◆ 目的：国際文化観光都市として魅力を高め、及び観光の振興を図る施策に要する費用に充てること
- ◆ 税率 宿泊者1人1泊につき

宿泊料金	税額
2万円未満	200円
2万円以上5万円未満	500円
5万円以上	1000円

令和5年度の宿泊税収入
5,198,678千円

左表は令和7年10月現在のもの
令和8年3月1日から新税額施行
予定

京都市

◆宿泊税の活用事例

- ① 多様で奥深い魅力を活かした「観光」の推進
 - ② 市民生活と観光の調和・両立の更なる推進
- 他に...宿泊税課税・徴収経費



金沢市

- ◆ 施行日：平成31(2019)年 4月1日
- ◆ 目的：金沢の歴史,伝統,文化など固有の魅力を高めるとともに,市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
- ◆ 税率

宿泊料金(一人一泊・税抜き)	税額
5千円未満	課税無し
5千円以上2万円未満	200円
2万円以上	500円

令和5年度の宿泊税
収入
1,036,124千円

金沢市

◆宿泊税の活用事例(令和5年度)

① 歴史・伝統・文化の振興

(例)金沢21世紀美術館の中長期修繕計画策定

② 観光客の受入れ環境の充実

(例)JRと連携した誘客プロモーション

③ 市民生活と調和した持続可能な観光の振興

(例)公共交通キャッシュレス決済の導入

④ 能登半島地震の復興に向けた緊急経済対策

(例)能登避難者の飲食支援

先行研究 「日本における宿泊税の導入効果」

千葉大学 後藤剛志研究会 観光① 伴雅人 鬨目遥陽 山形優葵乃
小田怜奈 勝畑恭子 寺田遥斗 元廣謙二郎（2023 年 11月）

- 合成コントロール法を利用
- 被説明変数：延べ宿泊者数
- 説明変数：博物館数、重要文化財指定数、治安、人口など
- 分析対象：大阪府
- データ期間：2014年～2019年

<https://www.isfj.net/articles/2023/%E3%80%90%E8%A6%B3%E5%85%89%E2%91%A0%E3%80%91%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E7%A8%8E%E3%81%AE%E5%B0%8E%E5%85%A5%E5%8A%B9%E6%9E%9C.pdf>

分析

- 固定効果モデルを利用
- 被説明変数: 宿泊者数(人泊)
- 説明変数: 客室稼働率(%), 人口(千人), 地方税(百万円), 消費者物価地域差指数, 年平均気温(°C), 年降水日数(日), ガソリン消費量(kl), 宿泊税の有無ダミー, 年ダミー
- 分析対象: 大阪府、福岡県
- データ期間: 2013年～2023年
- 東京都を除く46道府県のデータを利用

* 降水日数 2022年栃木県データなし
→ 栃木県の平均降水日数107.7日より108日を代入

分析

共に、東京都を除く46道府県のデータを使用

	先行研究	今回の分析
分析手法	合成コントロール法	固定効果モデル
被説明変数	宿泊者数	宿泊者数
説明変数	博物館数、重要文化財指定数、治安、人口、面積、平均気温など	客室稼働率、人口、地方税、消費者物価地域差指数、年平均気温、降水日数、燃料(ガソリン)消費量、宿泊税の有無ダミー、(年ダミー)
分析対象	大阪府	大阪府、福岡県
データ期間	2014～2019	2013～2023

分析結果①

年ダミーを説明変数から除いた場合の結果

	係数	P値	有意水準
客室稼働率	-0.224864	0.187283	
人口	-0.216712	0.481704	
地方税	0.063397	0.825857	
消費者物価地域 差指数	7.817239	3.917e-05	***
年平均気温	0.498119	0.003283	**
降水日数	0.144040	0.238270	
ガソリン消費量	1.087190	1.697e-07	***
宿泊税ダミー	-0.119210	0.558938	

Balanced Panel
n=46
T=11
N=506

有意水準

***0.1%

**1%

*5%

分析結果①

年ダミーを説明変数から除いた場合の結果

- 消費者物価地域差指数の係数が正
- 年平均気温が高いと宿泊者数が多い
- ガソリン消費が多い地域ほど宿泊者数が多い
- 宿泊税ダミーの係数は負(ただし有意性低い)

分析結果②

年ダミーを説明変数に含めた場合の結果

	係数	P値	有意水準
客室稼働率	0.5279126	<2.2e-16	***
人口	2.9312702	<2.2e-16	***
地方税	0.4699255	0.045000	*
消費者物価地域 差指数	-1.3079025	0.062380	
年平均気温	-0.0643183	0.701119	
降水日数	-0.0074604	0.876411	
ガソリン消費量	0.0220973	0.852027	
宿泊税ダミー	0.1563035	3.849e-05	***

Balanced Panel
n=46
T=11
N=506

有意水準

***0.1%

**1%

*5%

分析結果②

年ダミーを説明変数に含めた場合の結果

- 客室稼働率が高いと宿泊者数が多い
- 人口が多い地域に宿泊者数が多い
- 消費者物価地域差指数の係数が負
- 宿泊税ダミーの係数は正（有意）
- 2020年～2022年の年ダミーの係数が負

考察・まとめ

年ダミーを説明変数に含めない① 宿泊税ダミーの係数は負(ただし有意性低い)

↑時期的な全体傾向も含めて説明変数の効果に入れている

年ダミーを説明変数に含めた② 宿泊税ダミーの係数は正(有意)

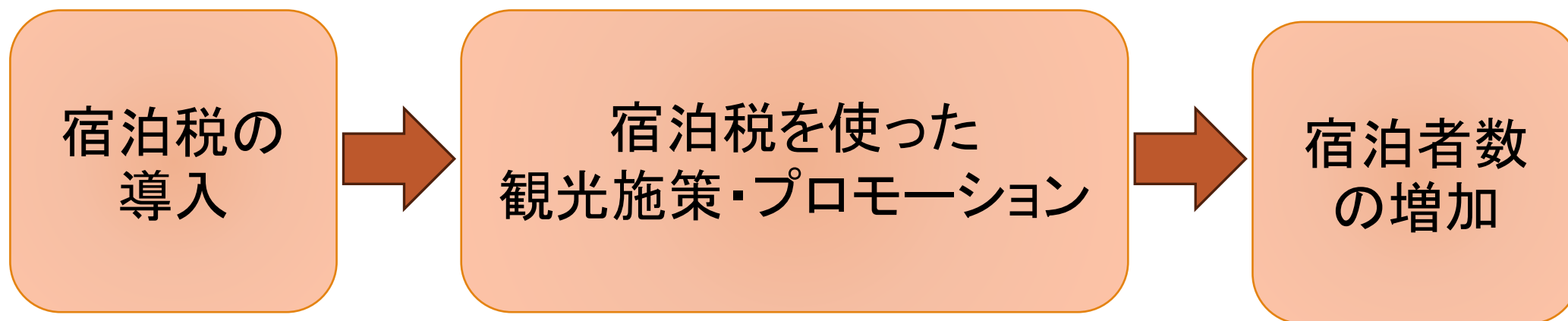
↑各年に寄る影響(コロナなど)を除いて結果を出す

年ダミーの有無で符号が変わったのは宿泊税導入期と宿泊者減少期がたまたま重なったからだと考えられる

②の結果の方が有意性も高く純粹に宿泊者数に対する宿泊税の影響を見ることが出来る

考察・まとめ

→分析結果から、宿泊税の導入で宿泊者数は増加した



参考文献

■宿泊税とは

- ・東京都 主税局 .「宿泊税」.<https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/kazei/leisure/shuk>, (参照日2025-10-30)
- ・東京都 主税局 .「宿泊税(一般の方へ)」. https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shitsumon/leisure/general_01 , (参照日2025-10-30)
- ・大阪府 .「大阪府の宿泊税」.<https://www.pref.osaka.lg.jp/o070070/toshimiryoku/syukuhakuzei/index.html>, (参照日2025-10-30)
- ・福岡県 .「宿泊税の概要について」.<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/syukuhakuzei.html>, (参照日2025-10-30)
- ・福岡県 .「宿泊税の使途について」.<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/syukuhakuzeishito.html>, (参照日2025-10-30)
- ・福岡県 .「宿泊税の活用状況について(令和5年度)」.
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/248187.pdf>, (参照日2025-10-30)

参考文献

- ・京都市情報館.「宿泊税について」.<https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000236942.html#keika>,(参照日2025-10-30)
- ・京都市情報館.「宿泊税の使途について」.<https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000275019.html>,(参照日2025-10-30)
- ・金沢市.「宿泊税を活用した主な事業のご報告」.
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/material/files/group/17/2025syukuhakuzei_panf_R5.pdf,(参照日2025-10-30)
- ・金沢市.「宿泊税について」.<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shiminzeika/gyomuannai/1/4/28700.html>,(参照日2025-10-30)
- ・総務省.「令和5年度 決算状況(市区町村)」.https://www.soumu.go.jp/main_content/000998953.pdf,(参照日2025-10-30)

■先行研究

- ・伴雅人 鬨目遥陽 山形優葵乃 小田怜奈 勝畑恭子 寺田遥斗 元廣謙二郎 (2023) .「日本における宿泊税の導入効果」.<https://www.isfj.net/articles/2023/%E3%80%90%E8%A6%B3%E5%85%89%E2%91%A0%E3%80%91%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E7%A8%8E%E3%81%AE%E5%B0%8E%E5%85%A5%E5%8A%B9%E6%9E%9C.pdf>,(参照日2025-10-30)

参考文献

■分析

- 宿泊者数、客室稼働率

- 国土交通省 官公庁 . 「宿泊旅行統計調査」 .

https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html, (参照日 2025-10-30)

- 人口推計、降水日数、年平均気温

- e-Stat . <https://www.e-stat.go.jp/>, (参照日 2025-10-30)

- 総務省 . 「地方税に関する統計等」 .

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/czei_shiryo_ichiran.html, (参照日 2025-10-30)

- 統計Dashboard . 「時系列表 消費者物価地域差指数(総合)」 . <https://dashboard.e-stat.go.jp/timeSeriesResult?indicatorCode=0703019002010090000> , (参照日 2025-10-30)

参考文献

- ・e-Stat.「自動車燃料消費量 第6・7表 燃料別・都道府県別・10車種別 燃料消費量・走行キロ」.

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/database?page=1&layout=datalist&toukei=00600370&tstat=000001051698&cycle=8&tclass1val=0&metadata=1&data=1>, (参照日2025-10-30)

ご清聴
ありがとうございました
